

国民のいのちを取り上げる 医療・介護一体改悪法案 (医療・介護総合推進法案) は撤回を!!

崩れゆく社会保障

「もし、日本がかつての平等性を取り戻さないならば、社会問題は増大し、世界で最高の健康水準をもつという名声を失うであろう。」

——リチャード・ウィルキンソン(「格差の衝撃」2009年)

政府は、この警鐘に逆らうように、社会保障制度の変質をおすすめ、制度そのものを崩壊させようとしています。現在検討されている医療・介護総合推進法案は、「地域での医療・介護の総合的な確保を推進する」と述べていますが、その実態は、昨年臨時国会で強行採決された「社会保障プログラム法」にもとづく、医療と介護の大幅な負担増とサービスの切り捨てを具体化しているところでもない内容です。

入院患者を2割も減らす!?

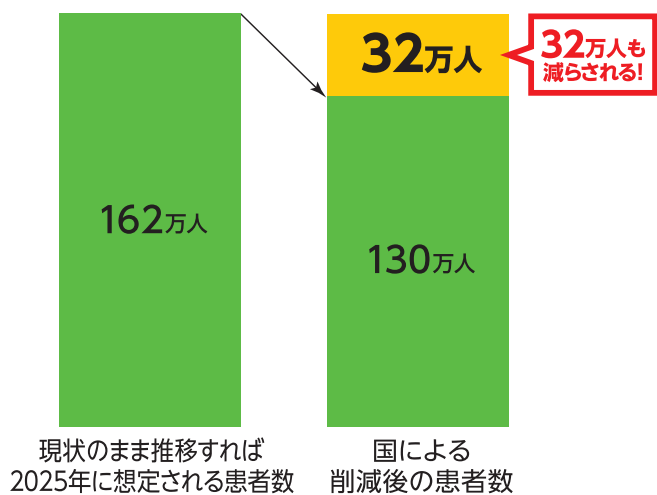
医療でも

介護でも

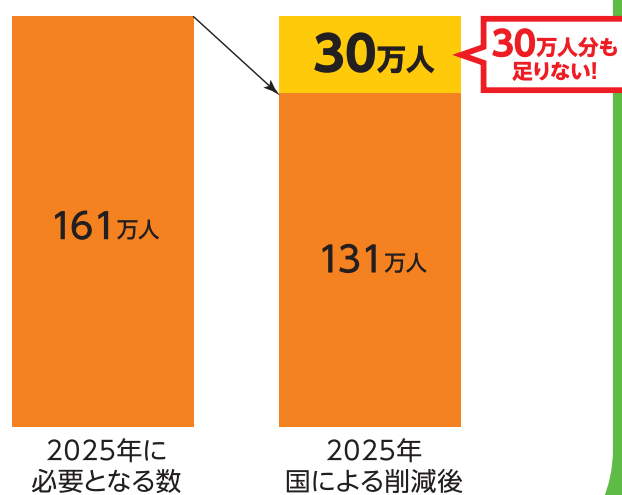
行き場のない介護難民!?

看護配置が手厚い病床、介護施設のベッド数を大幅に削減し、患者・利用者を追い出そうとしています。これにより、行き場のない医療・介護難民がさらに多くなります。

入院患者数



特養など介護保険施設の入所者数



「憲法をいかし、
安心の医療・介護を求める
国会請願署名」に
ご協力ください。